一月二十日朝、教養部構内において、暴力行為によって学生が死亡するという最悪の事態が起こった。総長として、深い悲しみと激しい憤りを覚える。強い決意をもって、二度とこのような暴力事件の起きないよう、学問の府としての大学の維持に当る所存である。

全学の各位の理解と協力を切望する。

昭和六十一年一月二十一日

京都大学総長　西島安則